

令和4年度 2学期 学校評価のまとめ (R5. 1)

松前町立北伊予中学校

【評価基準 A：すべて3.0以上、B：2.5以上がある、C：2.5以下がある】

(数字の は、1学期末より0.2以上評価が上がっている。太字は0.2以上下がっている。)

No.1

重点目標	評価結果						考察と課題、今後の方策
	項目	教職	生徒	保護	地域	評価	
1 確かな学力の定着・向上 教育課程の円滑な実施 研修の充実 授業改善の推進 (よく考えよく表現する) 個別指導の充実 学習習慣の確立 新学習指導要領への移行	中間値 2.5 最高値 4.0 よい(4点) ややよい(3点) ややよくない(2点) よくない(1点)						○ 教育課程については、2学期末までは順調に消化できている。 ○ 教職員の研修は、自主的に指導力の向上を求めて取り組み必要がある。 ○ 授業改善、個別指導については、感染症予防に考慮した授業形態の工夫等を行い、更に深い学びに向けた取組を継続していく。 ○ 学習習慣の確立については、日々の指導を継続する。 ○ 週末に「学びの記録」を記入させているが、授業だけでなく、家庭学習の方法を指導する必要がある。
	教育課程 教③	3.7				A	
	研修 教⑥⑦	3.1				A	
	授業改善 教⑧生①②保⑪	3.0	3.5	2.8		B	
	個別指導 教⑨生③④保⑪	3.1	3.3	2.8		B	
	学習習慣 教⑩生⑤⑥保④	2.8	3.4	2.6		B	
2 豊かな心の育成 自主性を育む生徒会活動 感動のある行事 道徳の時間の充実 学級の時間の充実 人権・同和教育の充実	中間値 2.5 最高値 4.0 よい(4点) ややよい(3点) ややよくない(2点) よくない(1点)						○ 運動会、文化祭などの行事は、縮小しての実施であったが、生徒会や生徒を主体として盛り上がることができ、成果があったと考える。 ○ 職場体験学習は予定通り実施でき、生徒は自分の将来を考えるよいきっかけとなった。 ○ 学級活動、生徒会活動は計画的に取り組んでいる。人権・同和教育への取組では、日々の授業や人権集会を通して、人権意識の高揚を図る取組ができた。
	生徒会活動 教⑪生⑦	3.4	3.6			A	
	執行事 教⑫生⑧保⑫	3.8	3.8	3.3		A	
	道徳類 教⑬生⑨保③地②	3.4	3.6	3.3	3.7	A	
	学級活動 教⑭生⑩⑪⑫	3.4	3.4			A	
	人権同和教育 教⑮生⑭⑮	3.4	3.5			A	
3 生徒指導の充実 (健やかな体) 生徒理解 保護者との信頼関係 いじめ・不登校の解消 清掃指導 あいさつ励行 交通安全指導 生活習慣 望ましい生活習慣	中間値 2.5 最高値 4.0 よい(4点) ややよい(3点) ややよくない(2点) よくない(1点)						○ 教師は生徒理解や保護者との信頼関係づくりに努力している。不登校傾向の生徒にも丁寧に対応し、改善に向かっている生徒もいる。今後も相談員やスクールカウンセラーとの連携を継続させていく必要がある。 ○ 清掃やあいさつ、交通安全についてはよくできている。今後もよい習慣が身に付くように指導していきたい。 ○ 部活動は、新型コロナ感染予防のために時間や活動内容が制限される中、工夫しながらの活動に充実感を感じているようである。 ○ 清掃、あいさつ、部活動などは本校の伝統でもあるので、学校全体でさらに向上するよう取り組みたい。
	生徒理解 教⑯生⑯	3.9	3.0			A	
	保護者信頼 教⑰ 保⑨	3.4		3.0		A	
	いじめ不登校 教⑱ 保①	3.8		3.2		A	
	清掃指導 教⑲生⑰	3.7	3.9			A	
	あいさつ 教⑳生⑱地④	3.9	3.5		3.5	A	
	交通安全 教㉑生⑲保②地①	3.2	3.8	3.4	3.5	A	
	生活習慣 生㉒保⑤⑬		3.3	3.1		A	
	部活動 教㉓生㉑保⑬地⑧	3.4	3.6	3.2	3.6	A	

重点目標	評価結果 中間値 2.5 最高値 4.0						考察と課題、今後の方策
	よい(4点) ややよい(3点) ややよくない(2点) よくない(1点)						
4 教育目標 信頼される学校づくり 家庭・地域との連携 教育目標 家庭地域との連携と信頼 P T A活動との連携 情報発信、受信 地域活動への参加 学校評価	項目	教職	生徒	保護	地域	評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育目標や家庭、地域との連携信頼において高い評価を得ている。 ○ P T A活動がほとんど実施できなかったが、コロナ禍であっても家庭、地域との信頼関係を築く努力が必要である。 ○ コロナ禍により、地域活動が再開されていないため、生徒が地域に貢献する機会がない状況が続いている。 ○ 連携信頼関係が継続できるように、適切で素早い情報提供に努めるようにしていきたい。 ○ 地域行事が開催されるようになれば、行事への参加を最優先にと指導を継続していく。
	目標 教①②	3.6				A	
	連携信頼 教④⑤保⑧⑨地⑤⑥	3.4		3.1	3.4	A	
	P T A活動 教⑳	3.4				A	
	情報発受信 教㉔保⑩地⑦	3.3		3.1	3.7	A	
5 服務等 明るい職場 資質の向上 報・連・相、協働態勢 教育公務員の自覚		教職	生徒	保護	地域	評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 明るい職場・資質向上・協働態勢の三点で1学期より評価が下がっている。「風通しの良い職場」を目指しているが、教員一人一人が、まずは自分の分担を自覚し、行動していくことが第一と考える。 ○ 教育公務員として、互いに自覚し合い、高めていくことのできる教師集団でありたい。
	明るい職場 教㉗	3.6				A	
	資質向上 教㉘	3.4				A	
	協働態勢 教㉙	3.7				A	
	公務員自覚 教㉚	3.7				A	
6 管理等 施設設備の安全管理充実 文書処理 情報管理 会計管理 校務分掌の適正化		教職	生徒	保護	地域	評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本校の施設設備は古いものが多いので、維持管理に教職員全員で気を付けていきたい。 ○ 文書管理の評価が下がっている。身の回りの整理整頓とんから見直していく必要がある。 ○ 情報管理、会計処理は比較的よくできている。引き続き適正に行っていきたい。 ○ 来年度への引き継ぎ、管理をしっかりと行う。
	施設設備 教㉑㉒㉓	3.5				A	
	文書管理 教㉔	3.4				A	
	情報管理 教㉕	3.6				A	
	会計管理 教㉖	3.8				A	
	校務分掌 教㉗	3.4				A	
全体のまとめ	<p>「真実を求め 希望に生き 実行に徹せよ」の校訓・教育目標のもと、明るく活気に満ちた学校づくり、地域に根ざした信頼される学校づくりをめざしている。全体的に、目標に沿って努力・実践したことの成果が現れつつあると考える。</p> <p>今後の課題としては、①学習習慣の定着に向けた家庭学習のあり方を指導する。②生徒理解と信頼関係作りを進めるとともに、いじめや不登校生徒への適切な対応を図る。③コロナ禍における学校行事の持ち方を検討する。④挨拶、清掃、交通安全指導の徹底に努める。⑤地域との連携、信頼関係の構築を継続して進める。⑥部活動のあり方についての検討などが挙げられる。また、I C Tの効果的な活用は、徐々に進んでいるが、さらに多くの場面で活用できるよう研修を重ねていきたい。</p>						